



あきおおた 議会だより

第57号

発行
令和2年5月11日

- | | |
|----------------------|--------------------|
| ●町長辞職……………2～3 | ●予算審議報告……………9 |
| ●令和2年度の予算の概要……………4～5 | ●町臨時議会……………10 |
| ●主要事業紹介……………6～7 | ●9人の一般質問……………11～19 |
| ●こんなことが決まりました……………8 | ●委員会報告・編集後記……………20 |

編集／安芸太田町議会広報広聴調査特別委員会

〒731-3810 広島県山県郡安芸太田町大字戸河内784-1 ☎0826-28-1965

小坂町長が河井克行衆議院議員より 20万円の受け取りを認め辞職。 安芸太田町議会は臨時議会にて9名 の総意で辞職の期日を承認！

令和2年度安芸太田町
第3回臨時議会は4月9
日開催され、小坂町長が、
9日をもって辞職するこ
とについて、欠席2名を
除く9名全員の同意によ
り確定しました。
(欠席議員…中本議員、
津田議員)
冒頭小坂町長より、辞
職に至る理由について説
明がされました。やりと
り要旨は下記の通り。



町長の説明

昨年4月河井克行氏が訪ねてきた際、差し出された封筒を受け取るべきではなかった。返す機会をうかがっていたが年度末になり、政治資金収支報告書に記載し処理をした。いわれのないお金を安易に受け取った。

町民、職員の信頼を欠く事になり責任を痛感している。

このような状態では町づくりを進めることはできず、1日も早く町政を戻し、新しいリーダーの下に町政を進めるべきと判断した。

異常な選挙の流れに巻き込まれ深く反省している。地元の事情聴取に協力し真相解明に努めたい。

質疑 3名

■平岡議員

受け取りを認められた理由は、悪いことをしたという良心からか、それとも追い込まれたからなのか。

町長答弁

政治資金収支報告書の期限が3月31日なので判断した。

■末田議員

町民への説明はどう果たされるか。

町長答弁

地検の事情聴取にこたえる中で対応したい。

■佐々木美知夫議員

退職金についての考えは。

町長答弁

退職金の支給に影響を与える事案ではないと考えている。

討論 3名

■末田議員

町長は河井克行衆議院議員から昨年4月20万円を受け取った事を認めた。

1年が経過した今年3月、マスコミ等で大きく取り上げられた中で、政治資金収支報告書に記載し県に届けられたが、公職選挙法買収容疑が問われる本件について、なぜ昨年の早いうちに返されなかったのか、辞職は必然である。辞職に同意する。

■大江議員

河井克行議員がお金を渡すことで票の取りまとめを依頼する意図があったとみるのが健全な感覚で、町長の『安易な気持ち』による行動は、住民には受け入れ難い。

一方、自民党本部からの巨額資金が、現金のバラマキの資金源になっていたことへの

党の責任も問われるべきだ。中央政権の思惑によって、地方がほんろうされる事には抗議する。

■富永議員

町長辞任に伴う賛成討論の内容は、責任ある対応が行われたのか、また、今後捜査協力と向き合っていけるか4点において納得すべきことが見えたので賛成した。

①主権者に対し責任のあり方について

②政治とカネに対する認識について

③政治の信頼回復に国会議員に説明責任の呼びかけについて

④今後、法的解明に伴う捜査協力について



決まりました!



令和2年度 会計別当初予算の状況

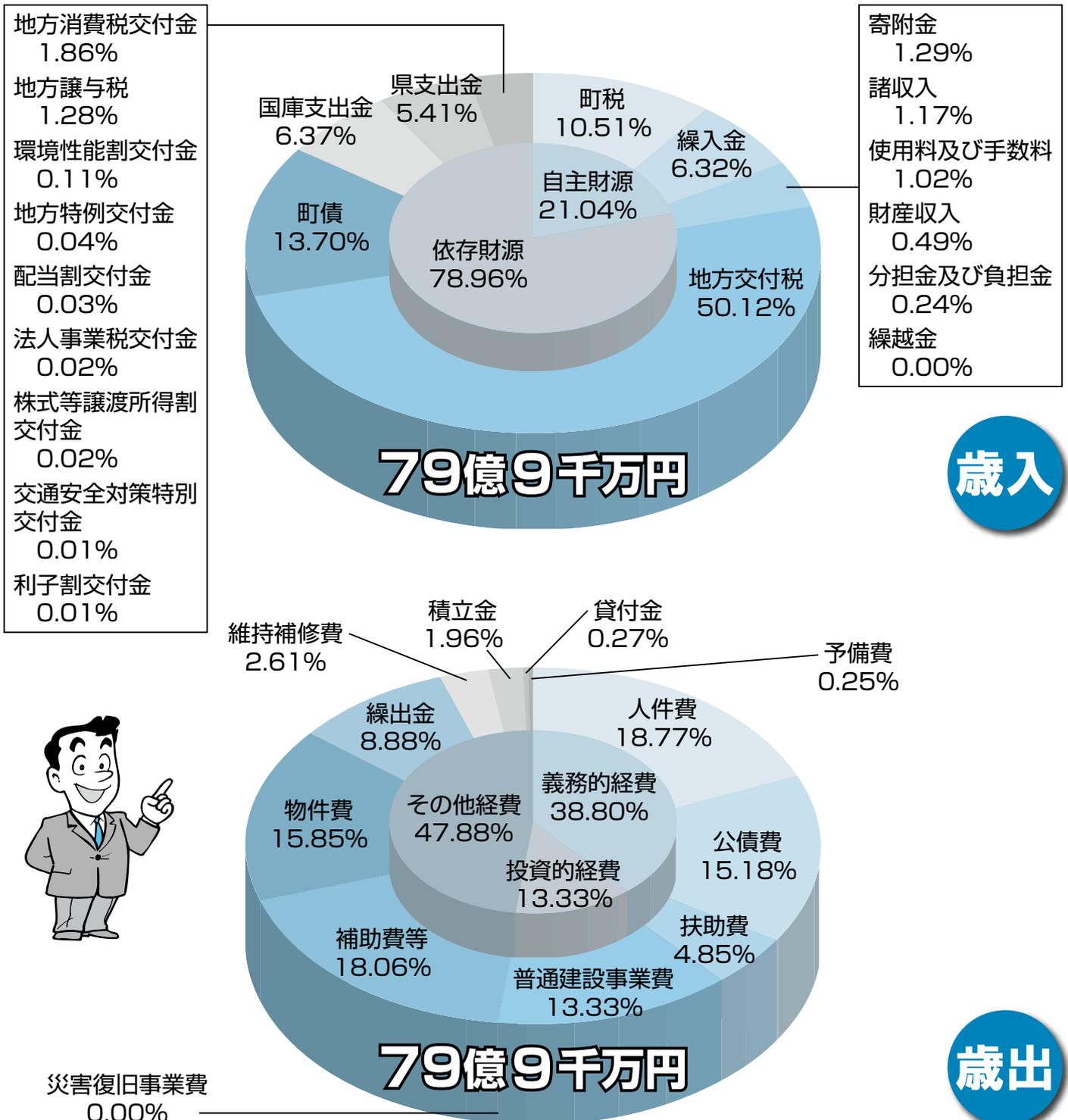
(単位:千円)

会計名	令和2年度 当初予算額 (a)	令和元年度 当初予算額 (b)	対前年度比較	
			増減額 (c)=(a)-(b)	増減率(%) (c)/(b)
一般会計	7,990,000	7,990,000	0	0.00
特別会計	3,145,477	2,957,289	188,188	6.36
国民健康保険事業特別会計	1,007,914	866,663	141,251	16.30
後期高齢者医療事業特別会計	153,962	151,531	2,431	1.60
介護保険事業特別会計	1,284,085	1,289,770	△5,685	△0.44
介護サービス事業特別会計	17,124	20,981	△3,857	△18.38
簡易水道事業特別会計	228,441	164,507	63,934	38.86
農業集落排水事業特別会計	122,591	123,247	△656	△0.53
特定環境保全公共下水道事業特別会計	300,107	323,222	△23,115	△7.15
筒賀財産区特別会計	31,253	17,368	13,885	79.95
小計	11,135,477	10,947,289	188,188	1.72
病院事業会計(収益的支出+資本的支出)	2,147,037	2,393,415	△246,378	△10.29
合計	13,282,514	13,340,704	△58,190	△0.44

今年度の予算が

第2回定例議会は3月4日～18日に開催され、一般質問、補正予算、条例、令和2年度の予算審議が行われ可決しました。

一般会計予算は79億9千万円、昨年度と同額となりました。



新規 会計年度任用職員制度の導入

1,057万円

(各課共通)

●取り組みのポイント

会計年度任用職員制度は、平成29年5月に地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律（平成29年法律第29号）により、特別職非常勤職員及び臨時的任用職員の任用要件が厳格化されるとともに、一般職の会計年度任用職員が創設され、また、当該職員に対する期末手当の支給が可能となったものです。

新たな制度であり、当面、制度の円滑な運用までには時間を要すると見込んでいます。

令和2年度においては、課題を整理し、必要に応じて制度の見直しを図ること、また、更なる任用状況の精査を行い、適切な制度、適正な配置となるよう努めていきます。

産業・観光・しごと

新規 三段峡観光多言語コンテンツ整備

1,000万円

(商工観光課)

●取り組みのポイント

特別名勝「三段峡」について、国の文化資源活用事業費補助金を活用し、天然の野外博物館（フィールドミュージアム）として、魅力を判りやすく伝える映像等を整備して発信することで、魅力を再発見させ、外国人観光客や植生等自然観察などの来訪者増加につなげます。

具体的には、これまで想像の域であった峡谷形成の成り立ちを、専門家の学術的な見地により再現化したCG映像等の制作を行います。

また、四季の自然を活写した動画、各自然の特徴、生きもの図鑑など、あらゆる「三段峡」の魅力を収容したWEBサイトを構築します。



社会基盤・防災・防犯

新規 ドローン活用実証事業

300万円

(企画課・産業振興課)



●取り組みのポイント

農林業、物流、インフラ点検等、ドローン（小型無人機）を活用した実証実験が全国各地で実施されています。

本町のような地形的条件や、生活や産業の状況、環境において、ドローンを活用することによりどのような課題が解決できるか、また、ドローンで撮影した上空からの画像等をどのように活用することができるか等について実証事業を行い、ドローンの活用による多様な分野への施策誘導を促進していきます。

今年の主要な新規事業!!

社会基盤・防災・防犯

継続 防災行政無線デジタル化更新事業

4億9,062万円

(総務課)

●取り組みのポイント

住民の生命、財産を守るため災害時、緊急時に安芸太田町全戸に確実に情報を届けるために安芸太田町防災行政無線の更新を行います。

現在安芸太田町の防災行政無線は「アナログ方式」の無線であり、電波法の関係で令和4年11月末に使用不可となるため、「デジタル方式」により防災行政無線の更新を行います。

デジタル化の整備においても現行の防災行政無線と同様に、安芸太田町内の全戸に個別受信機を貸与し、災害時、緊急時に避難情報等の確実な情報伝達を実施します。



子育て・教育・次世代育成

新規 児童福祉施設事業（筒賀保育所整備）

1億3,700万円

(児童育成課)



●取り組みのポイント

就学前の保育・教育環境の整備を図るため、幼保施設の適正配置・改修を計画的に行います。

令和2年度は、老朽化が著しく早急な対応が必要な筒賀保育所の改修を実施します。

整備にあたっては、今後の入所児童の推移や公共施設等総合管理計画の観点から筒賀小学校の一部の施設の有効活用を検討した上で、保護者説明等を行って実施します。

【目標】幼保施設（保育所・認定こども園）の耐震化率 75%→100%

社会基盤・防災・防犯

新規 未来技術活用推進事業

1,120万円

(企画課)

●取り組みのポイント

情報関連企業から地方自治体に専門家を派遣して、地方の未来技術の導入を支援するために国が創設した「デジタル人材派遣制度」を活用し、産業振興、福祉・医療、防災、移動手段の確保、財政健全化等、本町が抱える多様な課題の解決に向けて、IoT（Internet of Things）、人工知能（AI）、ロボット、ビッグデータなどの未来技術を戦略的に導入するための基礎調査及び戦略策定を行います。



こんなことが決まりました！

令和2年第二回 議会定例会

議案番号	件名	採決
議案第10号	山県郡西部新町建設計画の変更について	全会一致
議案第11号	安芸太田町町長等の損害賠償責任の一部の免責に関する条例の制定について	//
議案第12号	安芸太田町森林環境譲与税基金条例の制定について	//
議案第13号	安芸太田町職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正について	//
議案第15号	安芸太田町企業誘致促進条例の一部改正について	//
議案第16号	安芸太田町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	//
議案第17号	安芸太田町が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続に関する条例の一部改正について	//
議案第18号	令和元年度安芸太田町一般会計補正予算（第7号）	//
議案第19号	令和元年度安芸太田町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）	//
議案第20号	令和元年度安芸太田町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	//
議案第21号	令和元年度安芸太田町介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）	//
議案第22号	令和元年度安芸太田町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）	//
議案第23号	令和元年度安芸太田町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	//
議案第24号	令和元年度安芸太田町特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	//
議案第25号	令和元年度安芸太田町筒賀財産区特別会計補正予算（第1号）	//
議案第36号	令和元年度安芸太田町一般会計補正予算（第8号）	//
議案第14号	安芸太田町国民健康保険税条例の一部改正について	//
議案第26号	令和2年度安芸太田町一般会計予算	//
議案第27号	令和2年度安芸太田町国民健康保険事業特別会計予算	//
議案第28号	令和2年度安芸太田町後期高齢者医療事業特別会計予算	//
議案第29号	令和2年度安芸太田町介護保険事業特別会計予算	//
議案第30号	令和2年度安芸太田町介護サービス事業特別会計予算	//
議案第31号	令和2年度安芸太田町簡易水道事業特別会計予算	//
議案第32号	令和2年度安芸太田町農業集落排水事業特別会計予算	//
議案第33号	令和2年度安芸太田町特定環境保全公共下水道事業特別会計予算	//
議案第34号	令和2年度安芸太田町筒賀財産区特別会計予算	//
議案第35号	令和2年度安芸太田町病院事業会計予算	//
陳情第1号	安芸太田町健康運動クラブ連絡協議会活動への支援要望	//
請願第3号	種子法廃止に伴い、広島県種子条例制定と施策を県に求める意見書に関する請願書	//
発議第2号	広島県主要農作物種子条例制定と施策を求める意見書	//

財政健全化に向けた踏み出しに期待！

予算審査特別委員会

委員長報告

委員長 富永 豊

3月定例議会に提出された予算案について。

●条例に関する案件1件

議案第14号、安芸太田町国民健康保険条例の一部改正について

●令和2年度予算に関する案件10件

内容は、議案第26号、令和2年度安芸太田町一般会計予算、議案第27号から議案第34号までの、令和2年度特別会計予算の8議案、議案第35号、令和2年度安芸太田町病院事業会計予算の11議案について付託されました。
採決の結果、「可決」すべきものと決しました。



一般会計予算、特別会計予算、病院事業会計予算について審議の内容で考慮すべき気づきについて意見を申し上げます。

後期の第二次長期総合計画のスタートで、^{*}SDGsの受け止めについて、戦略として確りと受け止める、強い認識が必要です。

2030年どのような町にしていくのか、SDGsが示す17の目標に紐づく169のターゲットを、第二次長期総合計画と絡ませながら進むことを求めます。

※SDGsとは

「全世界全ての人たちが「持続的」に「人らしく生きる」ための開発目標です。

持続可能な社会をつくるためには人の権利だけでなく、環境や経済も大事にすることを目的にしていきたいと思います。

◎2020年度財政健全化に向けた予算について

持続可能な行財政運営は、予算計画の段階で分析、評価が肝心です。前提は、正確な数字の把握が財政健全化を生み出します。

2020年度予算が財政健全化に向けた踏み出しに期待をします。

◎職員の任用について

組織体制の課題として、専門的で高度な知識と能力を持った人材の育成・確保が求められています。職員の任用については一考を求めます。

移住・定住や雇用 新規就農事業に期待

賛成討論

角田 伸一

令和2年度一般会計予算に計上されている防災行政無線のデジタル化、人口対策については、関係各課連携して実現に向けた取り組みを進めています。老朽化の著しい簡賀保育所の改修に取り組みとされています。

広島市と連携した「ひろしま活力農業」が引き続き推進されること

と。

なお、新規就農による成果として、移住、定住の効果、雇用の創出も期待できるものです。簡賀水泳プールの改修、その他加計高等学校の支援事業、企業誘致促進事業、がんばるビジネス応援補助金事業などの継続事業は、安芸太田町のめざすまちづくりに欠かせない重要事業です。

一般会計に計上された、新規事業、継続事業それぞれに配分された予算額は、事業の実施に必要であると認められます。

令和2年度早々から実施する事業の予算も計上されており、予算審査特別委員会委員長報告のとおり賛成します。



いこいの村などの指定管理が決定!!

令和2年安芸太田町第一回議会臨時会

令和2年2月10日(月)

議案等番号	件名	主な内容	採決
議案第1号	工事請負契約の締結について (安芸太田町役場本庁耐震、大規模改修工事)	契約予定額 217,492千円	全会一致
議案第2号	工事請負契約の締結について (旧戸河内中学校解体除去工事)	契約予定額 168,300千円	//
議案第3号	安芸太田町公の施設の指定管理者の指定について (安芸太田町いこいの村ひろしま)		//
議案第4号	安芸太田町公の施設の指定管理者の指定について (安芸太田町深入山グリーンシャワー)	指定管理者/株式会社クラフトコーポレーション 指定の期間/令和2年4月1日から令和3年3月31日	//
議案第5号	安芸太田町公の施設の指定管理者の指定について (安芸太田町グリーンスパつつが)		//
議案第6号	安芸太田町公の施設の指定管理者の指定について (安芸太田町筒賀ふれあい農園)	指定管理者/特定非営利活動法人広島横川スポーツカルチャークラブ 指定の期間/令和2年4月1日から令和4年3月31日	//
議案第7号	損害賠償の額の決定及び和解について	損害賠償額 37,800円 交通事故(過失割合3割分)	//
議案第8号	令和元年度安芸太田町一般会計補正予算第6号		//
議案第9号	令和元年度安芸太田町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)		//
発議第1号	大江厚子議員に対する辞職勧告決議案の提出について		賛成多数

令和2年安芸太田町第三回議会臨時会

令和2年4月9日(木)

議案等番号	件名	採決
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて (安芸太田町固定資産評価審査委員会条例の一部改正について)	全会一致
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて (安芸太田町税条例の一部改正について)	//
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて (安芸太田町国民健康保険税条例の一部改正について)	賛成多数
	町長の退職の期日について	全会一致



町政に物申す! 9人が一般質問



角田 伸一 議員

問 「県内1水道」構想とは何

答 市町間の枠を超え水道事業の体制強化を図る

問

「県内1水道」構想に取り組む理由はどこにあるのか。また、構想実現のための協議の経緯は。

答

建設課長
水道事業は給水収益の減少、施設の更新費用の増加等経営の悪化が見込まれ、強い体制づくりが求められています。

広島県では、市町の枠を超えた「広域連携」による経営基盤の強化を図ることが有効であるとし、「広島県水道広域連携協議会」を設立し協議を重ねています。本町も協議会に参加し、事業連携を検討しています。

問

安芸太田町にとって、「県内1水道」のメリットは何か。

答

建設課長
統合されると、県内住民が等しくサービスを受けることができる

水道事業の実現を目指しています。危機管理対策、組織管理体制の最適化を統合して進めることができます。今後40年間の概算効果額が試算されており、本町においても削減効果があると試算されています。

問

「県内1水道」構想が実現したとき、本町の現行の水道料との比較はどうなるのか。

答

建設課長
県平均の1カ月当たりの水道料金は、1543円で、高い市町と安い市町では3・3倍の格差があります。

安芸太田町の水道料金は、安価なほうから8番目の料金設定となっています。市町間の料金格差解消に向けた検討が必要になります。



小学校でプログラミング教育

問

必修科目となった背景は。

答

学校教育課長
小学校では、令和2年度から外国語教育の教科化とプログラミング教育が始まります。

プログラミング教育は、今後コンピュータ等を活用することが求められる社会において、将来どのような職業に就くとしても極めて重要であり、プログラミング的思考力の育成と合わせて教育内容の充実を図っていきます。



●その他の一般質問

- 文化財保存活用計画・整備基本計画について、有害鳥獣対策について。

問

予算の適正性のガイドラインは



富永 豊 議員

答

基準財政需要額が一つの指標

問 予算の適正性を判断する上で、基準財政需要額との比較の受け止めについて。

答 総務課主幹

自治体の財政需要の積み上げである予算の適正性を判断する上で基準財政需要額は一つの判断指標、ガイドラインとなっています。

なお、実際の予算額と基準財政需要額の比較においては、本町の場合、人口が少なく、広大な面積の中で集落も点在し高齢化率も50%を超え、類似団体と比べて個々の行政コストがやや高くなることから、別の財源をもって差額を埋めなければならぬ状況です。

令和2年度の予算編成においては、財源不足を財政調整基金を取り崩し補填しています。しかし、財政調整基金は、歳入歳出を調整する最後の砦です。基金の取り崩しを続ければ、基金は数年のうちに枯渇し、財政危機にさいなまれます。

したがって、今回の予算編成では経費の再点検、経常的な経費を一定程度抑制し、基金の取り崩し額を当初の推計より4億円程度の縮減を図りました。

今回の予算編成を基本として、今後とも歳出抑制し、ふるさと納税など新たな歳入確保に注力して、持続的なまちづくりを支える財政運営に努めていきます。



問 予算の適正性と運営コストの適正性は。

答 総務課主幹

予算は経費の積み上げの正確さに重きをおき、運営コストはまずは成果の評価があつて、それに対する経費の適正さが求められるものと考えています。

その上で、今後とも我々に求められるものは運営コストの適正さであり、本町の長期総合計画に位置付けられた様々な施策に紐づいた目標の達成のために、適正なコストの判断として絶えずPDCAを回し、成果志向による行財政運営を図っていきます。

今後とも予算と成果を連動させた施策の展開と財政運営を行っていきます。

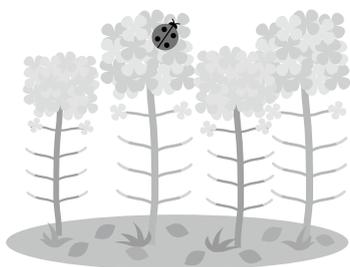
問 情報システム運用コストの適正化は。

答 総務課主幹

基本となるシステムの運用については、近隣市町と連携し、共同でクラウドシステム化してコストの縮減化を図っています。急速に開発が進むデジタル化社会の到来に向けて、一連の情報技術の活用が期待されています。

産業振興や福祉・医療、防災、移動手段の確保など、本町が抱えるさまざまな課題の解決に向け、新年度、国が創設したデジタル人材派遣制度を活用します。

新たな事業として未来技術活用推進事業を起こし、これらの技術革新等を効果的に活用できる調査研究を重ね、行政における運営コストの縮減と住民サービスの向上を図っていきます。





末田 健治 議員

問 地域1品運動で地域活性化を

答 地域の一番づくりを支援したい

問

一村一品運動は大分県の平松知事の提唱に始まり、全国的に広がったと言われている。

本町もそれぞれの地域特産品、植物、自然など誇れる宝がある。地域一品運動を進める考えはあるか。

答

産業振興課長

昭和50年頃に本町の旧町村でふるさと1品を選定し、特産品振興を図ってきましたが、高齢化、担い手不足により生産規模を縮小して特産品振興が行われている状況です。

地域づくり課長

それぞれの地域が地域の特性、特徴をどのように活用して地域づくりを進めるかということが一番重要と考えています。

町においては、地域マスタープランという呼称で取り組みを行いました。今後コミュニティの結束ということ、特産品づくりと合わせ、地域の一歩づくりという切り口で、行政も支援体制を確立していければと考えています。

行政が事務補助を

問

農地保全対策の中山間地域直接支払制度は、令和2年度より第5期対策が始まる。事務担当者が不在の地域においては、行政として、事務補助など援助をし、農地保全を図るべきと考えるがいかがか。

答

産業振興課長

第5期対策より、制度の見直しが行われ、交付金事務を行政書士や建設会社等の外部機関へ事務委託することが可能となりました。説明会や、広報誌への掲載により制度の周知を図ります。

問

道路交通法改正により、ドライブハロー装着時でも、大型特殊免許による公道走行が可能になったと聞く。免許取得には多額の費用がかかる。産業振興策の補助対象にすべきと考えるがいかがか。

答

産業振興課長

県、農協等関係機関の動向や情報を共有し、補助対象として検討

を行っていききたいと考えています。

防災無線デジタル化整備

問

令和2年度予算は持続可能な町づくりに向けどのように配慮された予算が要点を伺う。

答

総務課主幹

筒賀保育所の整備、加計放課後児童クラブの開設、学校教育におけるICT化の充実、防災行政無線のデジタル化整備などに重点的に予算配分し、事業を効果的に実施していきます。

問

財政はきびしい状況にあるがどの様な対策がなされたのか。

答

総務課主幹

これまでにも増して、既存事業の点検等を行い、経常的な経費について一定程度の削減を図った一方、集中的に投資すべき事業には重点的に予算配分しました。

全体でメリハリを利かせながら増大化する歳出予算の抑制を行い、基金の取崩額も4億円の縮減を図りました。

問

筒賀地域、公共施設の基本的方向性について



佐々木美知夫 議員

答

今後とも有効活用を図る

問

昨年、筒賀地域の公共施設の統合や、筒賀保育所の認定こども園への統合の議論がされ、また、地域交流拠点整備計画の説明等もあったが、その後は何の説明もないまま現在に至っている。6施設の現況と今後の計画について伺う。

- ① 安芸太田町役場筒賀支所
- ② 筒賀福祉センター
(社会福祉協議会本所)
- ③ 筒賀ふれあいプラザ
(図書館分室等)

答

筒賀支所長

① 安芸太田町役場筒賀支所
地域に親しまれるシンボリックな外観を活かして改築された建物で、今後も役場支所として使用されることに耐えられる施設です。

② 筒賀福祉センター

社会福祉協議会の活動拠点として本所が設置され、また、気象条件によっては広域避難所として利用されます。

修繕が必要な箇所もありますが、改修計画は未定です。

③ 筒賀ふれあいプラザ

1階には、24時間利用可能な公衆トイレ、図書館分室等設置されています。2階の集会施設では、健康体操、ダンス教室、運動クラブなど団体で利用され、年平均1600人の使用があります。

④ 高齢者生活福祉センター

(ひまわり等)

答
福祉課長

この施設は、生活支援ハウス、健康浴場、介護保険(小規模多機能型居宅介護)の3つの事業を複合的に展開しています。

住み慣れた地域で生活する、また、居宅での介護を継続するなど目的からも「ひまわり」の役割は大変大きいと思っています。健康浴場については、経年劣化により、毎年のように修繕が必要ですが、地域包括ケアシステムを推進していくためにも「ひまわり」の持つ各種機能を継続させていくことが必要と考えています。



高齢者生活福祉センター

⑤ 森林館、旧龍頭ハウス

答
商工観光課長

森林館は、森の歴史資料展示コーナーとレストランがあり、レストランは数年前にクローズしていますが、予約制で各種研修等の使用は可能としています。旧龍頭ハウスは閉鎖して3年になります。

現在、「JCOCA」の配食サービス事業拠点として利用されていますが、今年度末で期限が終了するため、次年度から1年間の自動更新契約を締結する予定です。

⑥ 筒賀保育所

答
児童育成課長

保育所の方向性については、当初「認定こども園とごうち」への統合等含め議論いただいた中で、存続と早期改修が必要との報告を受けています。地区の人口、入所児童の推移を勘案する中、現建物は構造上改修費が大きく、他の施設への移転を基本にしていく結論に至りました。新年度筒賀小学校を一部改修し、保育所移転案を第一に考えています。



平岡 昭洋 議員

問 問題解決力どうみがく

答 タブレットの導入

問

昨年、経済協力開発機構(OECD)が実施した「学習到達度調査」に、世界79か国の高校生レベルの学生が挑んだ。日本は特に読解力テストで、前回テスト8位から、今回15位に大きく順位を落としていたが、この要因について聞きたい。

答

教育長

今回のOECDのテストから、ペーパーテストではなく、コンピュータを使ったテストに切り替わっています。

日本の子どもが日常パソコンを使っているのは、主にチャットやYOUTUBEやゲームが多く、諸外国に比べ、パソコンによるテストには不慣れだったことが、特に読解力の成績が落ちたことの原因の一つだったのでないかと文部科学省では分析しています。そのことも踏まえ、本町では単に読解力(国語)ということだけではなく、さまざまな学習をコンピュータを使って身につけられるようにしたいと考えています。

そのため将来的に小学校、中学校の生徒に1人1台ずつタブレットを持てるようにしたいと考えて

います。

来年度の予算で、まずWiFi環境を整備するようにして、この事業を推進していく方針です。



ITを使った授業風景

次期長期総合計画の人口目標は見直すのか

問

長期総合計画では令和6年に町内人口5800人の目標を立てているが、現在既に町内人口は目標を下回っている。町はこの計画人口目標をどうするのか。

答

企画課長

昨年、10月の広島県人口移動統計調査における、本町の推計人口は5784人となり、すでに目標

の5800人を割り込んでいます。後期の新しい計画では令和6年の目標を5200人に見直すことにしています。

この実現に向けて、子育て、教育、就労、医療、防災、公共交通など、まちづくりの基盤を整え、住民満足度を向上させる各種の施策を打ち出す必要があると考えています。

雪不足の続く安芸太田町をどうするか

問

温暖化現象により、本町でも少雪化がますます進行するよう思う。冬季の観光事業を今後どう考えるか。

答

商工観光課長

冬季において、雪不足でも顧客を呼べるメニューとして、長野県等の星空観察体験ツアーやリストハウスでの地域食材の特別料理の提供などを参考に、特色を出せたらと考えています。

「顧客の目線に立ち、変化に素早く反応する」ことを心掛け、冬季観光メニューの開発に努めていきます。



佐々木道則 議員

問 財政運営方針の取り組みは

答 既存事業の点検見直で、経常的な経費の縮減を図る。

問 財政運営について一般財源の確保は。

答 総務課主幹

「成果志向の徹底」、「事業の選択と集中」、「要求額の精度向上」という三つの柱に立って増大化する歳出の抑制を図るほか、新たな歳入確保の取り組みとして、ふるさと納税について運営委託する「ふるさと納税サイト」を増やし、さらなる寄附額の獲得に取り組みでいきたいと考えています。

問 歳出の削減（人件費・補助金の見直し）は。

答 総務課主幹

適正な事務量や人員配置等を行い、人件費の削減に努めていきたいと考えています。
また、補助金等の見直しについては、抜本的な制度改革に向けた取り組みにはまだ着手できていませんが、制度の見直しや補助額の量的な見直しを図っていきます。

問 遊休資産の除却・撤去（JR橋梁）について。

答 総務課主幹

対象施設の多さ等により、課題はまだ山積しており、個別施設の具体的な取り組み方針を定め継続的に取り組みを進めて行きます。
旧JR橋梁について、今年度実施した主要橋梁の概略設計業務委託において対象橋梁全ての鉄橋除去には約15億円の工費が見込まれており、多額の財源の確保のため、国や県に対して支援制度の創設、拡充を要望し必要な財源捻出の努力を続け、早期の撤去事業着手に取り組みでいきます。

森林経営管理事業について

問 推進体制・森林経営管理室の設置は。

答 産業振興課長

業務内容について専門性の高い知識、経験が必要であると認識しており、専門職員の配置を行い、執行体制の強化が必要であると考

えております。現在の状況は、森林の経営管理の意向調査方法、また施業方法にかかわる検討を進めているところです。

公的病院再編について

問 この再編問題の考え方、今後の方針は。

答 病院事務長

現時点で他の病院と統合することはありません。安芸太田病院は、救急医療を実施していること等により、再編統合の必要な公立公的病院として公表はされておりませんが、必要な医療機能の見直しを行っていききたいと考えています。

今後、病

院改革プランを策定する中で、協議していきませんが、救急医療、入院、手術は今までおり実施してまいります。



安芸太田病院



田島 清 議員

問

文化施策を地方創生に活かしては

答

郷土を愛し、誇りを持てる活用を展開する



田楽展示 資料館 (川・森・文化・交流センター内)

問

歴史民俗資料館の活用状況及び教材化の方策は。

芸術文化活動への支援について(伝統芸能である神楽や田楽、新しい文化の神楽よさこいやカラオケなどコミュニティへの支援について)

答

生涯学習課長

町内の民具収蔵庫は4か所約4400点あります。展示方法のマ

ンネリ化を改善し、郷土史研究会協力のもと展示品入れ替えを行いました。

また、加計高校生による収蔵品展示のボランティアガイドの実施や、学校教育では展示の民具活用体験談を地域の方々から聞くなどの活用をして、郷土愛を育てる取り組みをしています。

民俗芸能については、昭和50年文化財保護法による制度改正で、保護制度が設けられました。町内で県指定4件、町指定3件があります。

町内の神楽団や田楽などの民俗文化財は、保存継承が課題となっています。新年度においては広島県教育委員会などと連携して調査し、地域文化伝統の継承基礎資料として活かしたいと考えます。

新しい文化のカラオケ、のど自慢、神楽よさこいへの支援については、各団体活動の会場提供や教育委員会として、後援などを今後も継続支援していく必要があると考えます。

被爆75周年を迎えるにあたり平和式典など安芸太田町の取り組みはなされているか

問

「戦没者追悼・平和祈念式典」のあり方について検討されているか。

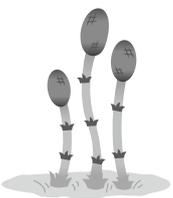
非核宣言自治体のまちの取り組みはどのようになされているか。

答

総務課長

本年度は、台風接近によりやむなく中止しましたが、終戦記念日の8月15日に行っている式典も、昨年は参加者は110名程度と年々減少しています。遺族会の意向などを踏まえ、平和への願い、思いが伝わる式典を検討したいと思っています。

本町は、平成17年4月に非核平和宣言を行っています。県内23市町中19市町が加入し、全国342自治体で構成する協議会と連携した取り組みを進めているところです。





大江 厚子 議員

問 子どもが減るから統廃合を繰り返すのか

答 持続可能な施設の運営を行う

問 原爆黒い雨を浴びた広島県内の住民（安芸太田町住民を含む）が援護対象区域の拡大を求

原爆『黒い雨』訴訟の支援は

答 様々なご議論をいただき、施設の統廃合ありきでなく、定住施設を含め多くの子育て支援策を進めてきました。今後においても、安定的で持続可能な施設の運営と子育て環境の構築を進めます。



戸河内幼稚園卒園式 壁面ディスプレイ

問 来年3月で戸河内幼稚園は廃園となり、戸河内小学校区内の子どもの施設は、小学校だけになる。このような状況は、子ども・保護者・地域にとって将来が見通せない状況だ。子どもの数が減るから統廃合を繰り返せば、地域は確実に衰退していく。就学前の子ども達の施設を、形を変えてでも行政が責任を持って存続させるべきだ。

答 児童育成課長

様々なご議論をいただき、施設

めている訴訟の判決が7月29日に言い渡される。原告全員勝訴の判決が出るように、国、市、県へ要望すべきと考えるがいかがか。

答 福祉課長

黒い雨の降雨地域の拡大を求める人の思いに寄り添った判断を一刻も早く示していただきたいと考えています。関係する市町とも協議をしながら、今後の対応を検討したいと思います。

問 黒い雨に含まれる放射性物質による内部被ばくは、福島第一原発事故に通じるものだ。福島の子どもの健康被害が心配されている。福島でも広島のような被爆者健康手帳交付を求める声がある。国は法を定め、責任を果たすべきと考える。被爆者の住む町の町長として、この福島の問題をどう考えるか。

答 福祉課長

当事者に寄り添った援護の早期解決が望まれており、国の責任に

において、財政措置を含め実態に即して対策の一層充実強化をしていただきたいと考えます。

ごみ処理、町の姿勢は

問 本町のごみ処理委託料、リサイクル販売収入について伺う。

答 衛生対策室長

平成30年度は、ごみ処理委託料約9542万円、リサイクル販売収入は、約341万円です。

問 出すごみをいかに減らすか、どうリサイクル率を上げるか。町の取り組みの方針を伺う。

答 衛生対策室長

平成29年度調査では、リサイクル率全国平均は20・3%、本町は37・8%、全国1位は、鹿児島県の大崎町82%です。

ごみに対する理解をいただくために、地域の集会や個別の対応も含めて分別の方法について説明に力を入れていきます。



中本 正廣 議員

問 持続可能な町づくりについて

答 雇用創出と消費の拡大を図る

問 本年度の重点施策は。

答 総務課主幹

令和元年度の成果と課題を踏まえ、引き続き、持続可能な町づくりに向けて、関係施策の見直しを図りながら、定住人口の維持・確保や、地域資源を活かした雇用創出と消費拡大などに取り組んでいきます。

企画課長

第2次長期総合計画の4つの重点施策である

- ① 定住人口と人材確保、育成によるまちづくりの基盤強化
 - ② 都市部との商いの活性化と町内産業間の連携推進
 - ③ 各世代にとつての暮らしやすさの向上
 - ④ コミュニティの活力向上
- これらを、まち・ひと・しごと創生総合戦略として進めていきます。



感染症危機管理の対応は

問 新型コロナウイルスに対する安芸太田町の対応について。

答 健康づくり課長

2月4日に対策本部を立ち上げています。

感染予防をしっかりと、イベント等の自粛をして、感染者が出た場合は保健所の後方支援的役割を担っていきます。

学校教育課長

子供たちの健康安全を第一に考え、3月2日から休校措置に踏み切りました。

病院事務長

医師、職員との情報共有を行い、日本医師会を通じて山県郡医師会からの情報をも得る中で、国の基本方針に基づいた行動を取っています。

副町長

国の経済対策については、コロナウイルスに対する融資制度が新たに創設されました。今後の動向を注視していきます。

10月の町長選挙について

問 3期の中では光ファイバー網を全町へ、加計中学校体育館、加計小学校、戸河内小学校、安芸太田病院の新築など業績評価は高く敬意を表している。10月満了となるが次期について考えを伺う。

答 町長

考えを巡らせましたが、10月の選挙には立候補しません。



安芸太田病院

委員会報告



産業建設常任委員会報告

先進地視察 島根県津和野町

2月20日

木質バイオマス事業の 取り組みについて調査

津和野町は、平成17年に旧日原町と旧津和野町が合併して誕生した。森林が90・4%を占めており、森林の内、人工林が33%と針葉樹は少ない。

平成25年高津川流域木質バイオマス活用調査検討協議会（森林組合、生産事業社、県、町など）を設立し、木質バイオマス発電の可能性を調査開始。

最終的に、小型バイオマスガス化発電機（Votter40）と出会い、設置の検討に入る。これはフィンランド製の小型発電機で、12基を整備し、480kwの発電を計画。燃料の

木質チップ供給のためには、乾燥機2基の設置が必要である。

計画では、まず、FIT制度（固定価格買取制度）の承認を受ける。次に、中国電力との協議により、売電の接続が可能となるのは2022年3月の予定となった。現時点で契約料157万円を支払い、契約を締結している。

現在2021年度建設予定であるストックヤード整備に向け、補助金申請の手続きを進めている。



研修風景

県種子条例の制定を 意見書提出を決定

3月17日

令和2年3月17日、委員会において、継続審議中の県種子条例制定に対する意見書について審議することにも意見書の提出を決定した。

総務常任委員会報告

病院の現状と課題調査

3月24日

安芸太田病院は、結城病院長を中心に24時間365日、地域医療に取り組んでいる。令和2年度から管理者に平林医師を迎え、その期待に添えるべく体制を整えている。

周辺診療所医師や広島安佐市民病院による医師支援などの連携により救急医療・当直体制を維持している。開業医の高齢化や診療所の減少などで、今後も役割に対応する必要がある。その他、新型コロナウイルス対策での職員のマスク不足対応状況及び診療体制など聞き取りを行った。

感染症拡大への町の対応

3月18日

●全員協議会
新型コロナウイルスの発生、感染の拡大を受け、全員協議会で安芸太田町の対応について、聞き取りを行った。



■表紙 「春の雪化粧」
4月14日、戸河内インター付近の太田川から



編集後記

3月議会が終了した矢先、河井克行衆議院議員、河井あんり参議院議員による公職選挙法違反疑惑が連日報道される中、町長は20万円の受け取りを認められた。職員には日頃法令順守を厳しく指導されていただけに、辞任は当然と思われる。退職金に影響を与える事案ではないと議会では主張された、道義的にはどのようにお考えなのか？。
(末田健治)

議会広報委員

- 委員長 末田健治
- 副委員長 吉見 茂
- 委員 角田伸一
- 委員 平岡昭洋
- 委員 大江厚子
- 委員 田島 清